

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	関係法規・医学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学期	前期 水曜1限	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	北野 富美雄				
実務経験と その関連資格	八尾徳洲会総合病院に25年間、薬剤師として勤務。 ①院内処方箋による外来調剤(外来患者)、入院調剤(入院患者) 外来患者、入院患者の服薬指導実施 眼科では(点眼剤、経口剤の用法、用量、薬理作用 副作用について) 副作用チェック、医師への報告 ②薬品の品質管理 (麻薬、劇薬、毒薬 冷暗所保存薬 普通薬について厳格な管理) ③他職種(医師 看護師 言語聴覚士 作業療法士 視能訓練士)勉強会での薬品情報提供(新薬 副作用) ④新薬治験・研究 医薬品の臨床治験の実施基準に従い、新薬の効果、副作用の調査、審査 ⑤薬剤師業務とは別に病院職員研修に従事。医療従事者として責任ある、患者中心の行動習得の指導、講義の実施				
《授業科目における学習内容》 関係法規、医学概論を履修することにより、①医療従事者の法的義務、行動責任 ②インシデント アクシデント 医療安全 ③救急対応 処置 AED操作 ④衛生統計 国勢調査 成人保健 ⑤インフォームドコンセント、患者対応 ⑥感染対策 スタンダードプリコーション ⑦脳神経 自律神経 筋肉 内分泌が 理解できる。視能訓練士の国家試験に出題が多く、国試の合格に寄与できる。日常業務において、チーム医療に参画できる。医療従事者として責任あ る、患者中心の行動ができる。					
《成績評価の方法と基準》 小テストと本試験の点数で評価する。小テストは5回目に行う(範囲は1～4回まで)20%(50点×0.4=20点)。 本試験は1～8回(全範囲)80%(100点×0.8=80点)。 小テストと本試験で(80%+20%=100%) 成績評価とする。総合評価で60点以上を合格とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 視能訓練士 国家試験問題(特に過去10年間)					
《授業外における学習方法》 前回の国家試験問題を確認してほしい。					
《履修に当たっての留意点》 解らないところがあれば遠慮なく質問してほしい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	関係法規 視能訓練士法、視能訓練士免許、守秘義務、資格と名称独占 業務独占が理解できる	配布プリント	視能訓練士法の予習	
	各コマにおける授業予定	視能訓練士法、視能訓練士免許、守秘義務、資格と名称独占 欠格事由 個人情報の取り扱い 業務独占 視能訓練士以外の職種の業務内容 免許の訂正について学ぶ			
第2回	授業を通じての到達目標	関係法規 医療法、インフォームドコンセント 患者権利 臓器移植法 医療の倫理が理解できる	配布プリント	視能訓練士法の復習と医療法、インフォームドコンセント 臓器移植法 医療の倫理の予習	
	各コマにおける授業予定	医療法 インフォームドコンセント ヘルシンキ宣言 ジュネーブ宣言 医の倫理 診療情報の開示 チーム医療 患者権利 リスボン宣言 尊厳死 臓器移植法について学ぶ			
第3回	授業を通じての到達目標	関係法規 感染症法(1類、2類、3類) 予防接種法 検疫法 学校保健安全法 学校感染症 眼感染症が理解できる	配布プリント	医療法、インフォームドコンセント 臓器移植法 医療の倫理の復習と感染症法(1類、2類、3類)予防接種法 学校感染症の予習	
	各コマにおける授業予定	感染症法(1類、2類、3類) 予防接種法(弱毒生 不活化 トキソイド) 検疫法 学校保健安全法 学校感染症 眼感染症について学ぶ			
第4回	授業を通じての到達目標	関係法規 医療安全対策 インシデント アクシデント 安全管理 CPR(心肺蘇生) AED 救急対応が理解できる	配布プリント	感染経路 感染症法(1類、2類、3類) 予防接種法 検疫法 学校感染症の復習と医療安全対策 CPRの予習	
	各コマにおける授業予定	医療安全対策 インシデント アクシデント 医療事故 医療過誤 救急医療 災害医療 一次救命処置 二次救命処置 心肺蘇生法 AED について学ぶ			
第5回	授業を通じての到達目標	小テスト(1～4回まで)30分 テストの後 関係法規 母子保健 母子保健法 3歳児健康診査が理解できる	配布プリント	1～4回までの復習の復習と母子保健の予習	
	各コマにおける授業予定	小テスト(1～4回まで)30分 母子保健指導 母子保健行政 母子保健法 市町村の役割 母子保健手帳 などについて学ぶ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	医学概論 衛生統計 成人保健 死因順位が理解できる	配布プリント	母子保健の復習と衛生統計 成人保健の予習
	各コマにおける授業予定	衛生統計(人口動態統計 国勢調査) 老年人口 平均寿命 疾病予防(1次～3次予防) 成人保健 死因順位 疾病の動向 健康日本21 健康増進法 について学ぶ		
第 7 回	授業を通じての到達目標	医学概論 国家試験対策 脳神経と自律神経が理解できる	配布プリント	衛生統計 成人保健 死因順位の復習と脳神経と自律神経の予習
	各コマにおける授業予定	国家試験対策 脳神経 第1～12神経(動眼神経 三叉神経 外転神経 顔面神経 内耳神経 舌咽神経 迷走神経等) 自律神経 交感神経 副交感神経について学ぶ		
第 8 回	授業を通じての到達目標	医学概論 国家試験対策 内分泌が理解できる	配布プリント	脳神経と自律神経の復習と内分泌の予習
	各コマにおける授業予定	国家試験対策 下垂体前葉ホルモン 下垂体後葉ホルモン 甲状腺ホルモン バセドウ病 副甲状腺 膵臓ホルモン グルカゴン インスリン 糖尿病 糖尿病合併症 について学ぶ		
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			